

総義歯補綴学実習（歯科医学総合講義1）

4 年次 前学期	授業科目責任者：4 年次学年教育主任 ユニット責任者：河相 安彦（有床義歯補綴学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	無歯顎患者の損なわれた QOL の向上を図るために必要な総義歯補綴による再建とリハビリテーションの知識・技能・態度を習得する。
授業担当者	河相安彦, 木本 統, 桑原克久, 林 幸男, 中田浩史, 川瀬充朗, 矢崎貴啓, 池口伸之, 菅野京子, 島 由樹, 末光弘宣, 宗 邦雄,
教科書	総義歯補綴学実習便覧・日本大学松戸歯学部顎口腔義歯リハビリテーション学講座編・わかば出版
参考図書	無歯顎補綴治療学 第2版・細井紀雄, 平井敏博, 大川周治, 市川哲雄 編著・医歯薬出版 パウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版・田中久敏, 古谷野潔 ほか監訳 / Geroge A.Zarb ほか編著・医歯薬出版
実習器材	配布済みの器具を準備, 材料は支給
評価方法 (EV)	実習製作物 (80%), 実習試験 (20%) によって評価点とする。また, 出席状況, web class による自学自習の進捗状況, 実習態度を加味する。
学生への メッセージ オフィスアワー	超高齢化社会である現在, 歯科治療における最後の砦である総義歯治療のニーズが再認識されています。今回の学習は, 多種多様の症例に対応できるようになるための基本の習得を目的としています。そして, 実習の各ステップについての十分な予習による, 大きな学習効果の向上を期待します。シミュレーション実習でありませんが, 常に患者様を意識して行ってください。原則的に実習のデモは行いません。webclass で製作過程を動画で十分に予習して実習にのぞむこと。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4 月 11 日 (月) 3 時間 14:00 ~ 16:50	予備印象 研究模型の完成	(準備学習) webclass の当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 使用する器具と材料の取り扱いについて説明できる。 無歯顎の顎堤に適したトレーを選択できる。 予備印象の採得を行い, 印象の適否が判断できる。 石膏の注入を行い, 研究模型を調整できる。 研究模型を適切な厚さと形態に仕上げることができる。 LS: 第 5 実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,B >	河相安彦 木本統 桑原克久 中田浩史 林幸男 矢崎貴啓 菅野京子 島由樹 宗邦雄 川瀬充朗
4 月 18 日 (月) 3 時間 14:00 ~ 16:50	各個トレーの完成	(準備学習) webclass の当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 各個トレーの外形線が記入できる。 スパーサーの付与が適切にできる。 適切な厚さのトレーレジンを押接することができる。 指定された位置に把柄を付与することができる。 適切な長さおよび厚さに調整することができる。 LS: 第 5 実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A >	同上
4 月 25 日 (月) 3 時間 14:00 ~ 16:50	下顎の筋形成 最終印象 ボクシング 作業模型の完成	(準備学習) webclass の当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 各個トレー試適時の診査事項を述べることができる。 コンパウンドを用いて筋形成を行うことができる。 筋形成の適否を判断することができる。 無歯顎に用いる最終印象材の性質を説明できる。 最終印象を適切に行うことができる。 ボクシングを適切に行うことができる。 作業模型を調整できる。 LS: 第 5 実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-B,C >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月2日(月) 3時間 14:00～16:50	作業模型の調製 標識線の記入 後堤法 ブロックアウト	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 作業模型を適切な厚さと形態に仕上げることができる。 作業模型上に歯槽頂線を記入することができる。 上顎床後縁の設定を根拠に基づいて行うことができる。 ブロックアウトを確実にできる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,B,C >	同上
5月9日(月) 3時間 14:00～16:50	咬合床の作製	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) コア法による基礎床の作製ができる。 基礎床のレジンを適切な厚さおよび長さに調製できる。 蠟堤を適切な形態に形成できる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-A,D >	同上
5月16日(月) 3時間 14:00～16:50	垂直的顎の対向関係位の設定 フェイスボウトランスファー 上下顎作業模型の咬合器付着	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 垂直的顎の対向関係位の設定についての手順を説明できる。 仮想咬合平面の設定ができる。 下顎安静位法に基づき咬頭嵌合位を設定できる。 フェイスボウトランスファーができる。 正確な咬合器付着が行える。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-D,E >	同上
5月23日(月) 3時間 14:00～16:50	水平的顎の対向関係位の設定 (ゴシックアーチ描記法) チェックバイトの採得 咬合器のプログラミング	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) ゴシックアーチ描記法が確実にできる。 ゴシックアーチ描記について説明できる。 チェックバイトの採得ができる。 チェックバイトを用いて、咬合器のプログラミングができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -6-D,E >	同上
5月30日(月) 3時間 14:00～16:50	ろう堤の修正工作 上顎前歯の人工歯排列	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 蠟堤の修正工作を行える。 上顎前歯の人工歯選択基準を述べるができる。 基本的な上顎前歯排列を行うことができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-G, 各 - -6-F >	同上
6月6日(月) 3時間 14:00～16:50	上顎臼歯の人工歯排列	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 歯槽頂線に沿った上顎臼歯部排列を行うことができる。 矢状および側方調節湾曲を具現化することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - -6-F >	同上
6月13日(月) 3時間 14:00～16:50	下顎臼歯および前歯の人工歯排列	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 歯槽頂線に沿った下顎臼歯部排列を行うことができる。 臼歯部において緊密な咬合を付与することができる。 審美的な前歯排列を行うことができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - 3-F, 各 - -6-F >	同上

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月20日(月) 3時間 14:00～16:50	歯肉形成	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 滑らかな歯頸ラインを形成できる。 辺縁歯肉形態を形成することができる。 歯間乳頭の形成が行える。 歯根形態を形成することができる。 頬舌側研磨面および口蓋形態を形成することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-G, 各 - -6-G >	同上
6月27日(月) 3時間 14:00～16:50	床用レジン填入・温成	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 使用するレジンの適正量を計量することができる。 餅状期のレジン填入することができる。 適切な温成時間で重合を行うことができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -III-(II)-7-N >	同上
7月4日(月) 3時間 14:00～16:50	研磨・リマウント	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) リマウントの目的を述べることができる。 チェックバイトの採得を行うことができる。 咬合器再付着ができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 -III-(II)-7-O,P >	同上
7月11日(月) 3時間 14:00～16:50	選択点削除 自動削合	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 両側性平衡咬合について説明することができる。 選択点削除の方法に従って行うことができる。 自動削合より咬合小面を形成することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - ;-6-F >	同上
7月25日(月) 3時間 14:00～16:50	自動削合 咬合面形態の修正	(準備学習) webclassの当該項目製作過程の動画を観察 (SBOs) 両側性平衡咬合について説明することができる。 選択点削除の方法に従って行うことができる。 自動削合より咬合小面を形成することができる。 LS: 第5実習室 < F-3-4)-(3)- > < 各 - -3-F, 各 - -6-F >	同上